週　報

国際ロータリー第 2660 地区

令和元年 12 月 17 日
第 2873 回例会
第 2456 号

豊中ロータリークラブ

広めよう　ロータリーの心　地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー
ROTARY CONNECTS THE WORLD

2019.7～2020.6
会　　　長　松山辰男
副　会　長　矢野　昭
幹　　　事　米田　眞
雑誌･広報･会報委員長
佐川正治

本日（12 月 17 日）のプログラム
「前期新会員自己紹介」
前期新会員：松本　悟
原　和永
吉川秀樹
平野和枝
～ニコニコクイズ～

次回（12 月 21 日）のプログラム

「年末家族会」

☆会長の時間☆

「マイクロプラスチック」

2019-20 年度　会長　松山辰男

先日、テレビ大阪「ガイアの夜明け」で、脱プラスチックに向けての、いろいろな努力が紹介されました。レジ袋全面禁止を 2020 年 8 月から実施する亀岡市の市民の戸惑い、すでにあちこちで実施されているレジ袋有料化、スターバックスの紙ストロー完成、レジ袋生産で 6 割のシェアを有する福助工業の海洋では分解されるレジ袋開発の取り組み、土の中では微生物によって分解されるプラスチックも海洋では微生物が少なく分解されないことなど、国内の各分野での努力が紹介されました。現状は道半ば、まだまだ難題が山積みの感があります。

問題の起こりは、クジラなどの大きな海洋動物が、レジ袋を飲み込んで次々に死んでいく、海洋や、浜辺のレジ袋のゴミによる汚染などです。東南アジア諸国のプラスチックゴミ処理能力のない国々で、深刻な問題になっていることですが、海は世界に繋がっているので、世界中に影響を及ぼしています。最近は「マイクロプラスチック」が新たな問題になっています。海中で波によって粉々になったプラスチックの破片を小さな魚でも食べるために海産物全てがプラスチックを構成する毒性の強い物質によって汚染されるといいます。最近出版された医学雑誌には、紅茶を飲むとマイクロプラスチックが体内に入るというカナダからの論文が世界を驚かせました。ティーバッグがろ紙でなくプラスチックのメッシュになったために、熱湯でプラスチックメッシュからプラスチックの微粒子が 100 億個以上も遊出するというのです。日本茶にも最近ティーバッグがありますね。

早急にプラスチックを高温焼却する設備を東南アジア諸国に備えることと、便利で、もはや社会生活必需品であるプラスチックではありますが、極力使用を控えるしかないでしょう。

四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551　　FAX 06-6857-0011
例　会　日　時：毎週火曜日 12 時 30 分より
事　　務　　局：10 時～16 時（土日祝を除く）
ＨＰアドレス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/
メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例 会 出 席 報 告☆

	第2872回	第2869回
例　会　日	12月10日	11月19日
①会員数 A	37	37
（内出席免除者）	6	6
②出席義務者数	31	31
③出席義務者出席数	23	22
④出席免除者出席数	5	4
⑤メイクアップ数		3
⑥出席義務者欠席数	8	9
出席率 %	77.78%	82.86%

出席率（前回）＝③+④／②+④出席率（前々回）＝③+④+⑤／②+④

○幹　事　報　告○

・**国際ロータリー第 2660 地区日本事務局より**
【再募集】第 7 回　日台親善会議が届きました。

掲　示　板

・**ニコニコクイズ**
日　時：12 月 17 日（火）　本日例会時
場　所：ホテルアイボリー　例会場

・**年末家族会**
日　時：12 月 21 日（土）　17：30 受付
18：00 開始 20：30 終了予定
場　所：ホテル阪急エキスポパーク
※送迎バスはホテルアイボリー前に来ます。
ご乗車の方は 17：00 丁度に出発しますので 17：00 までに必ずお越しくださいますようお願い致します。
※12 月 24 日（火）は年末家族会の振り替えの為休会となります。
12 月 31 日（火）は定款により休会となります。
1 月　7 日（火）は新年互礼会の振り替えの為休会となります。

・**第 7 回定例理事会**
日　時：　1 月 11 日（土）17:00～
場　所：千里阪急ホテル 2F「サンシャインテラス」

・**新年互礼会**
日　時：　1 月 11 日（土）17：30 受付 18：00 開始
場　所：千里阪急ホテル 2F「アイビーホール」

・**教育フォーラム**
日　時：　1 月 25 日（土）13:30～16：30
場　所：ホテルアイボリー1F「かやの間」

※事務局は 12/28～1/5 までお休みとなります。
緊急連絡は会長・幹事までお願い致します。

◎親睦委員会受付当番
1 月チーフ：佐川会員
1 月　14 日　　西蔵会員、田畑会員
1 月 21 日　　奈須会員、松本悟会員
◎副幹事・副 SAA 当番
1 月副幹事　　豊島了雄　会員
1 月副 SAA　　森本博明　会員

12 月　10 日のゲストとビジター

・井上　孝　様　　大阪北梅田 RC
IM 第 1 組ロータリーデイ広報副委員長
・大川　充　様　　大阪北梅田 RC
IM 第 1 組ロータリーデイ広報委員
・楊　馳　君　　米山奨学生
・Li Ji Yao さん　　豊中 RC 奨学生

12 月 10 日のニコニコ箱報告

・本日は来年 3/21 のロータリーデイの PR に来させていただきました。
皆様のご参加よろしくお願い致します。
井上 孝様、大川 充様　大阪北梅田 RC
・誕生日祝いを頂いて　　狩野会員
・家内の誕生日祝いを頂いて　豊島、森本各会員
・入会記念日祝いを頂いて　　豊島会員
・写真を頂いて　　森本、都井各会員
・12/3 の欠席のお詫び　　都井会員

本日の唱歌

「お正月」

作詞：東くめ　作曲：滝廉太郎

もういくつねると　お正月
お正月には　凧（たこ）あげて
こまをまわして　遊びましょう
はやく来い来い　お正月

もういくつねると　お正月
お正月には　まりついて
おいばねついて　遊びましょう
はやく来い来い　お正月

唱歌担当：西蔵仁司

唱歌予定

1 月 14 日「星の界(よ)」　北村公一会員
1 月 21 日「冬景色」　小牧義昭会員

12 月 10 日の卓話

「米山記念館訪問報告」

卓話者：楊　馳　米山奨学生

米山梅吉翁は 1868 年 2 月 4 日、大和国高取藩の和田氏の三男として東京に生まれ、父の死後、母の故郷の静岡県長泉（現米山梅吉記念館の所在地）に移り、中学生まで、静岡で過ごしました。1883 年 16 歳の時、静岡県から上京し、働きながら勉学に励みました。1887 年、米山家に養子として入籍、同年米国へ渡り、 8 年間の苦学の留学生活を送りました。帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事し、博文館より『提督彼理（ペルリ）』を出版しました。1897 年、井上馨の紹介で三井銀行に入社し、三井銀行深川・横浜・大阪各支店長などを経て、1909 年、常務取締役に就任しました。1924 年に三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されると逸早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を”社会への貢献”とするなど、今日でいうフィランソロピー（Philanthropy）の基盤を作りました。晩年は財団法人三井報恩会理事長、三井信託株式会社代表取締役会長、第 15 回赤十字国際会議日本赤十字代表委員などを歴任し、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。 1928 年に紺綬褒章受章、1942 年に勲四等瑞宝章受章しました。また、子どもの教育のために、はる夫人と共に私財を投じて 1937 年に財団法人緑岡小学校（現青山学院初等部）を創立し、校長に就任しました。1946 年 4 月 28 日死去、享年 78 歳でした。

米山梅吉は日本のロータリーの創始者で、日本ロータリーの父「Father of Rotary in Japan」と称されます。1918 年の渡米中、ダラスロータリークラブ（ＲＣ）のロータリアンになっていた福島喜三次の紹介により、ロータリークラブと出会いました。そして帰国後の 1920 年 10 月、米山梅吉は東京ＲＣを創立し会長に就任しました。幹事は福島喜三次です。米山は 1924―26 年度国際ロータリー（ＲＩ）のスペシャル・コミッショナー、1926―27 年度ＲＩ理事（日本人初）、1928－31 年度第 70 地区（当時）ガバナーなどを歴任していました。文筆に優れた彼には、ロータリー関係の主な翻訳書に、ポール・ハリスが著した『ロータリーの創設者ポール・ハリス』、『ロータリーの理想と友愛』（原題は『This Rotarian Age』）があります。

三井信託銀行社長当時、米山梅吉が使用していた執務机と椅子、米新入社員の入社祝いに配布した名刺入れなど貴重な展示物も見ました。展示室の見学を終え、3 階に上がり、屋上で富士山をバックにみんなで集合写真を撮りました。館内の見学が終わり全員で米山梅吉翁のお墓にお参りをさせて頂きました。
梅吉翁は俳人としても著名な方で、墓碑には「いさかいもなき漫々の青田かな」という歌が記されています。

見学の感想として、一つは米山梅吉翁の奉仕の精神に感動しました。「窮すれば則ち独り我が身を善くし、達すれば則ち兼ねて天下を善くす」という孟子の言葉があり、梅吉翁はまさに「達すれば則ち兼ねて天下を善くす」の如き奉仕の偉人であった。そして、今の自分のできる範囲の奉仕活動がきっとあると思います。いまひとつは、繋がりを大事にすることです。見学の最後に行いました、みんなで輪になって手を繋いだ状態で「右手を上げよう」という活動は非常に意義深いものでした。自分は右手を上げていると、隣さんの左手も上げられましたので、みんなと仲良くなり協力すれば万歳のことになると思いました。私もこれから片手では他人を支えていこうと決めました。奨学生として採用されましたからこそ、このような研修旅行に参加することができました。他大学の奨学生とお互いに交流できる場を与えていただき誠にありがとうございました。ご同行くださいましたカウンセラーの宮田先生をはじめ、ロータリクラブの皆様にお礼申しあげたいと思います。